



支援部だより

宮城県立気仙沼支援学校
校内支援だより 第1号
令和7年4月21日発行
文責：支援部 小野寺

この度、18名の入学生、1名の転入生の児童生徒が気仙沼支援学校のメンバーに加わりました。新転入生の保護者の皆様、児童生徒の皆さん、ようこそ、気仙沼支援学校へ！これから毎日学校でたくさんのことを学び、たくさん友達と活動し、元気で明るい学校生活を過ごしましょう。支援部ではお子さんの成長のためのお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

○「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」って何？

今回は「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」について説明いたします。先輩の保護者の方はすでに面談などで実際に目にしているかと思いますが、改めて確認いたします。

「**個別の教育支援計画**」は、特別な支援を必要とする子ども一人一人のニーズに応じた適切な支援を行うために、長期的な視点で乳幼児期から学校を卒業するまでを通じて一貫し、教育・福祉・医療・労働等の関係機関が連携して支援するための計画です。関係機関と連携を図りながら作成します。

「**個別の指導計画**」は、個別の教育支援計画を踏まえながら、教育課程における目標や指導方法を具体化し、きめ細やかな指導・支援を行っていくために作成するのが「**個別の指導計画**」です。個別の指導計画は単元や教科、学期ごと等の成果を評価しながら、指導の進め方についてその都度見直します。指導と評価を重ねることによって、一人一人の児童生徒への適切な指導の充実を図ります。

今年度は、5月1日から個別面談が実施されます。直接担任の先生方と話をし、指導目標や支援について確認できる大切な面談となります。お子さんの好きなことや興味のあること、得意なこと苦手なこと、全て支援のヒントとなりますので、ぜひお話しいただければと思います。

○支援会議について

続いて「支援会議」について説明します。本校の『支援会議』は、担任や保護者が、関係機関（相談支援事業所、障害児通所支援事業所の担当者、保健師等）と支援方法や情報を共有する会議のことです。支援部の教員は、そのコーディネート（つなぎ役）をしています。

- 「教育支援計画をもとに、支援目標に迫るための役割分担を確認したい」
- 「学校、保護者、関係機関みんなで情報を共有したい」
- 「学校と施設で統一した支援方法で接してほしい」
- 「学校や施設の様子を知りたい」
- 「利用できる福祉サービスについて知りたい」



関係者みんなで情報を共有し、子ども達や御家族皆様が少しでも生活しやすくなるような支援方法やサービスについて検討します。地域生活の充実や卒業後の進路についても話題にしながら、話し合う良い機会となっています。

今年度は7月28日（月）～8月4日（月）の予定です。日時は、保護者の方、参加していただく関係機関と調整して決まります。



<支援会議の対象となる児童生徒>

- 小中学部新入学児童生徒
- 転学生
- その他 保護者からの要望がある場合（希望がある場合は担任まで申し出てください。）